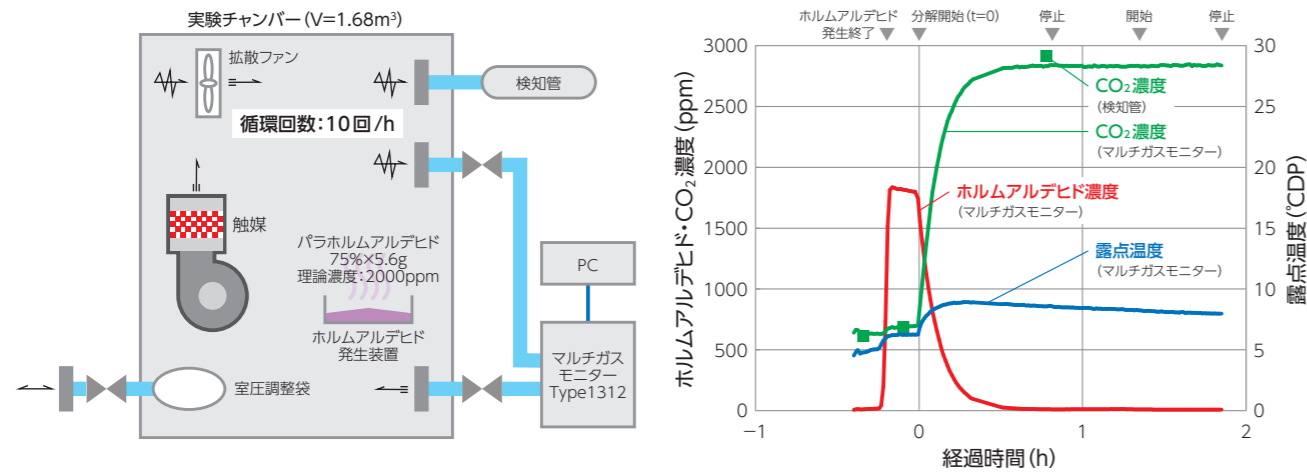
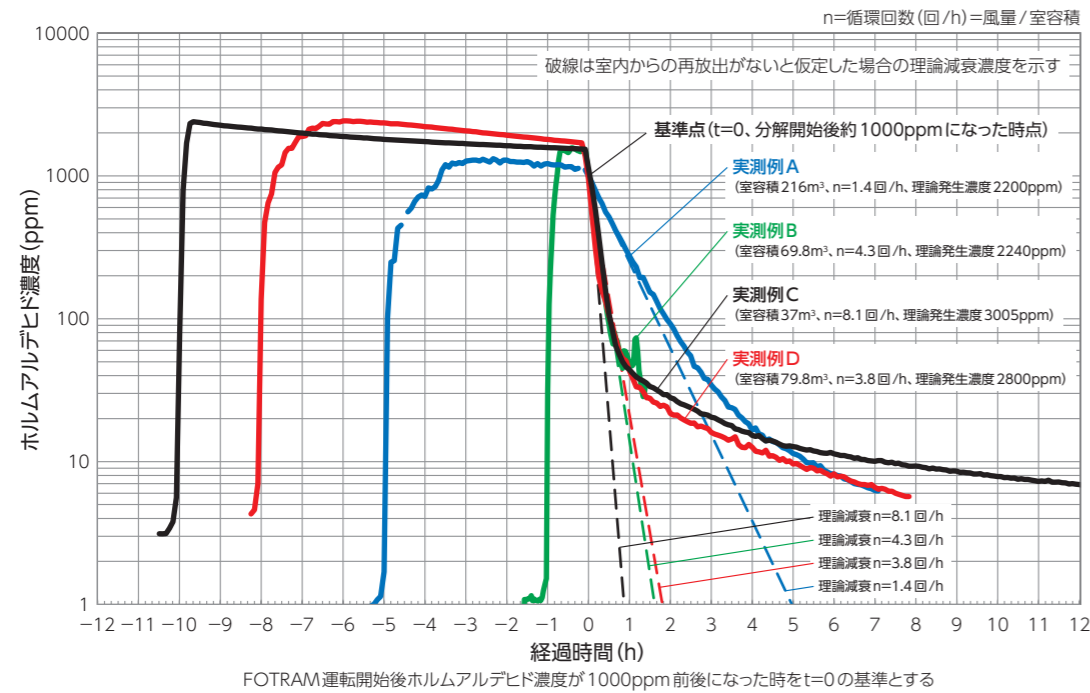


# 酸化分解性能

## チャンバー実験



## フィールド試験



# TECHNO RYOWA

室内循環型ホルムアルデヒド酸化分解装置

特許第 4490538 号

FOTRAM<sup>®</sup>  
フォトラム

【開発・販売】

**テクノ菱和** 株式会社 テクノ菱和

■お問い合わせ 技術本部 技術管理部  
TEL. 03-5978-2548 FAX. 03-5978-2370

■ホームページアドレス <http://www.techno-ryowa.co.jp>

## FOTRAM 室内循環型ホルムアルデヒド酸化分解装置

「FOTRAM(フォトラム)」は、実験動物飼育施設やバイオクリーンルームにおけるホルムアルデヒド燻蒸後の屋外への排気濃度対策を目的として、触媒を用いて**常温でホルムアルデヒドを酸化分解する室内循環型の装置**です。

※室内濃度基準値(0.1ppm)以下への早期低減には、空調システムによる対策をご提案させていただきますので、ご連絡ください。(実績データあり)

## ホルムアルデヒド処理の必要性

ISO 14001 対応

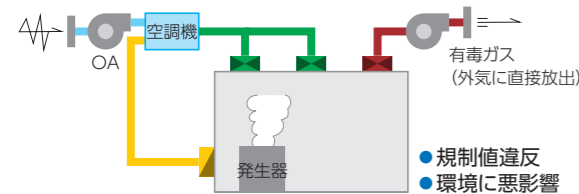
条例排出規制値

東京 70mg/m<sup>3</sup>  
 神奈川 5ppm  
 京都 2ppm

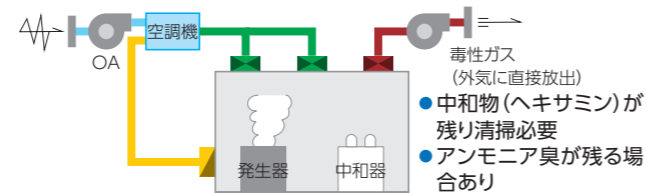
規制値および条件は  
 各自治体にご確認ください。

## 現状のホルムアルデヒド処理方法と問題点

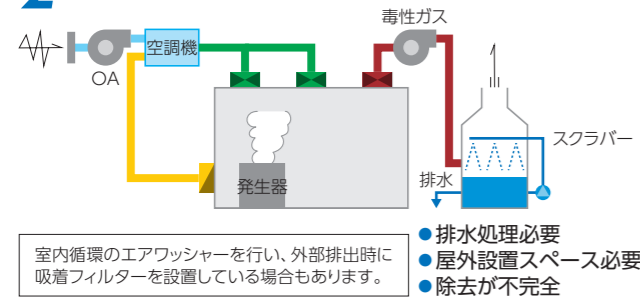
### 1 無処理大気放出



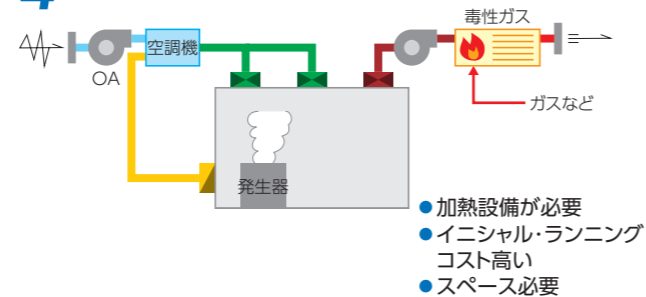
### 3 アンモニアガスによる中和処理



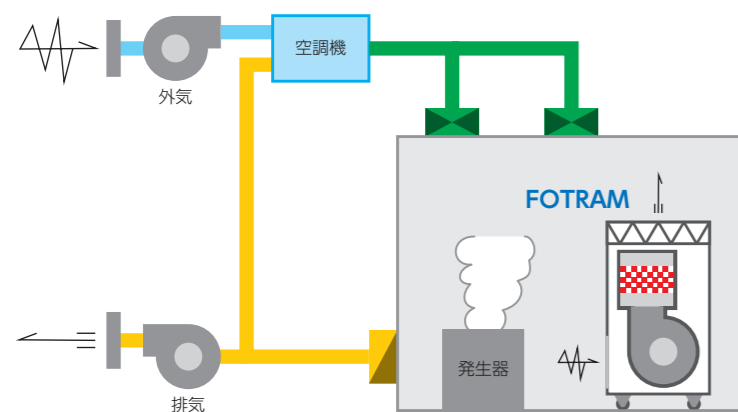
### 2 スクラバーまたは吸着剤による排気処理



### 4 触媒方式(対象ガスを加熱)



## FOTRAMは現状処理方法の問題点を解決します。



1. 有毒ガスの無害化
2. 環境負荷の低減
3. 専用の固定処理設備が不要
4. コストの低減
5. 省メンテナンス化

## FOTRAM

### 仕様



形式 可搬式室内循環型  
 型番 FOT2000  
 外形寸法 400<sup>W</sup>×400<sup>D</sup>×980<sup>H</sup>  
 重量 約60kg  
 処理風量 300/420m<sup>3</sup>/h(50/60Hz)  
 電源 単相 100V  
 消費電力 200/250W(50/60Hz)  
 標準処理容積 約100m<sup>3</sup>(床面積:40m<sup>2</sup>、天井高:2.5m)  
 標準処理時間 約5~6時間

処理時間は、室内容積から理論計算により求めます。  
 ただし、分解後半において、燻蒸時に室内部材表面へ付着したホルムアルデヒドが再放出しますので、ガス濃度は理論減衰よりも緩やかになります。

小風量型、発生機能付の  
 小型FOTRAMも  
 製作しております。

小風量型  
 FOTRAM  
 (20m<sup>3</sup>用)



発生機能付  
 小型FOTRAM  
 (1~3m<sup>3</sup>用)



### 環境負荷の低減

- 常温で触媒に接触することにより、水蒸気と二酸化炭素に酸化分解します。



### コスト低減

- 専用の排気ダクトや加熱設備が不要となるため、低コスト、省スペースを実現します。
- 新規施設、既存施設を問わず簡単に導入、設置できます。100Vの電源があれば使用可能です。

### 省メンテナンス

- 触媒は長時間使用可能です。ただし、使用状況により処理時間が長くなる場合があります。この場合、触媒のリフレッシュが必要となります。販売店にお問い合わせください。

### ご使用にあたって

- 燻蒸ガスの発生は**パラホルムアルデヒド**の加熱により行ってください。
- 燻蒸前に室内に設置してタイマーにより起動します。
- 殺菌の効果はバイオロジカルインジケータ等によりご確認ください。
- ホルムアルデヒド分解後の入室にあたっては、ガス濃度をご確認ください。
- ホルムアルデヒド以外のガスがある環境下での使用は避けてください。



ホルムアルデヒド発生装置

製品の仕様は改良などのため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。